

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
輸血・移植免疫学	2年次	必修	講義	1単位（30時間）	笹岡 悠一 ※
授 業 概 要					
<p>輸血検査学における血液型の遺伝や抗原構造、頻度など基本的な知識を学び、輸血検査部の現場状況を踏まえながら実際の輸血学検査の検査意義と手順を学ぶ。臓器移植を免疫学と遺伝学の観点から考察し、その理論と問題点、社会的側面を学び、さらに検査手技も学ぶ。</p>					
到 達 目 標					
<ul style="list-style-type: none"> ・血液型の遺伝学や免疫学を理解する。 ・輸血学の検査の重要性を修得する。 ・臓器移植に必要な基礎知識を理解する。 ・輸血検査と臓器移植を取り囲む現在の問題点を理解する。 					
回	学 習 内 容				担当教員
1	輸血の概要 : 輸血の意義と歴史				笹岡 悠一 ※
2	最近の輸血検査の実情				
3	A B O血液型 : A B O血液型の基礎				
4	A B O血液型検査				
5	R h血液型 : R h血液型の基礎				
6	R h血液型検査				
7	その他の血液型 : M N S、P、ルイス、ダフィ、キッド式血液型その他				
8	輸血検査 : タイプアンドスクリーンと不規則抗体の検出				
9	交差適合試験				
10	輸血療法の実施に関する指針				
11	血小板型 : H P Aの基本知識と検査方法				
12	移植免疫の概要 : H L Aの遺伝と抗原構造				
13	H L Aの役割				
14	臓器移植の生着				
15	臓器移植検査 : H L Aタイピング				
学 習 方 法					
<ul style="list-style-type: none"> ・教科書を読んでしっかりと基礎知識を理解すること。 ・不明な点は必ずその場で解決すること。 					
評 価 方 法					
<ul style="list-style-type: none"> ・講義開始時又は終了時に小テストを実施する。 ・遅刻や欠席等で小テストを受験しなかった場合は0点とするが、正当な理由がある場合は追試験を実施する。 ・定期試験（60％）及び小テスト（40％）により評価する。 ・再試験は小テストの内容を合わせて出題し、これを評価する。 					
先 修 科 目					
生物学、感染生体防御学					
教 科 書、参 考 書					
<p>〔教科書〕 最新臨床検査学講座 免疫検査学 窪田哲朗 他 医歯薬出版 若葉マーク 臨床検査学エッセンス・ノート 臨床病因・生体防御検査 山内一由 MEDICAL VIEW 配布資料</p>					